

○ 5月30日（木） 快晴 アポイ岳

朝5時起床。周りには鹿児島、名古屋、所沢などのナンバープレートを付けた車が数台泊まっている。真夏のシーズンに比べるとやはりちょっと寂しい。昨日の雨は上がっていて、空は薄曇り。アポイ岳のある南のほうは雲がかかっている。気温は11℃、久しぶりで風のない朝を迎え少々暖かい気がする。食事中に天気が好転し青空が見えてきた。

朝食後アポイ岳へ向かって様似の海岸線を南下し7時に駐車場着。先着は1台しかいない。天気はどんどん良くなり陽が射してきたがアポイ山頂あたりはまだ雲の中だ。アポイ岳は何回来ただろうか？ もうコースを頭の中ですっかり描くことが出来る。

先着の1台は帯広ナンバーで男1、女2のパーティー、少し前に登って行った。私は花を探しながらのんびりと登り始めた。アプローチの草つきの道にはエゾオオサクラソウの群落が見れた。でも花はもう終わっていて数輪しか見当たらず、実もできはじめている。散るのがちょっと早いな。



その後五合目の小屋までは林の中の遊歩道みたいな登りだが、さすがアポイ岳、種々の花が咲いている。ギンラン、ミヤマハンショウヅル、



エゾオオサクラソウの花



エゾオオサクラソウの実

エゾノハクサンボウフウ、エゾタカネニガナなどが咲き、赤いハイマツの芽吹きが可愛らしい。ヒメイチゲはもう花が終わり実をつけていた。



ギンラン



ミヤマハンショウヅル



エゾノハクサンボウフウ



エゾタカネニガナ



ハイマツの芽



ヒメイチゲの実

五合目小屋に着いた頃には、すっかり雲がなくなり快晴、アポイ山頂付近もくっきり見える。

ここで帯広の3人パーティーに追いつき、前になり後ろになりして尾根道を上った。アポイ岳に来る人は皆花を求めてくる花好きの登山者だが、帯広の3人パーティーもその例に漏れず花が好きな方々だったので、花を見つけては歓声を上げながら楽しく登った。



帯広の3人パーティー

アポイ岳の花のシーズンはこれからで、今は花の種類はさほど多くなく、今日は平日でもあるし登山者はあまりいない。シーズンのあの混雑がウソのようだ。

アポイアズマギクがちょうど満開で、白やピンクや青い花がいたるところに咲いている。



アポイアズマギク (白花)



ピンク色

サマニオトギリやアポイハハコは葉だけでまだ花芽もない。



サマニオトギリ



アポイハハコ

馬の背の手前の砂礫斜面にはミヤマオダマキやヨツバシオガマが咲きアポイクワガタが一面に咲いているが、咲いているはずのサマニユキワリがぜんぜん見当たらない。

アプローチで見たエゾオオサクラソウがすでに散ってしまっていたこともあり、時期を逸したかと少々不安を抱きながら馬の背を超えた。この辺りは「サマニユキワリのお花畑」と本には書いてあるが、何もない！ とにかく上へ登ってみよう。



アポイクワガタ

頭上の雲はいつの間にかすっかりなくなり、見渡す限りの青空が広がっている。眼下には今登ってきた尾根道の先に五合目の小屋が、その向こうには様似の海岸線と太平洋の大海原広がって見える。まさに絶景だ！



5合目小屋

太陽の強い日差しに汗をかきながらさらに登っていくと、上から女性が下ってきたので「この先にサマニユキワリは咲いていますか?」「ええ このすぐ先に咲いていますよ」と嬉しい返事が返ってきた。帯広の3人パーティーは結構ゆっくりなので、いつの間にか後ろに置いてきた。

幌満お花畑分岐を過ぎ山頂に続く急斜面の砂礫と岩場に来てやっとサマニユキワリが顔を出し始めた。でもかなり元気がない。もう時期が終わりに近いらしい。それでもしばらくの間はサマニユキワリの大合唱が続き、写真を撮りまくった。あまりいい被写体が見当たらないし風が強くて花が揺れてしまい、良い写真が撮れない。



もうひとつ探しているヒダカイワザクラはどこだ。9合目付近まで登って、岩の隙間にやっと数輪だけ咲いているのを見つけた。あとはもうみんな散っていて、むなしく葉だけが残っている。数輪



の花を必死で咲かせて私が来るのを待っていてくれたようで感激しながら写真に収めた。

今春は気温が高かったので花期が半月くらい早かったようだ。今見ごろのはずのエゾキスミレも終わってしまい、黄色い紙屑のようにちじれた花をつけていた。

一応 何とか残っていてくれたサマニユキワリとヒダカイワザクラを写真に収めることが出来た。あと少しで山頂へというところだが、山頂は何回も登っているので、今回は快晴の青空に突き出した山頂を眺め、眼下に美しく続く様似海岸を眺めながら、登ってきた道を引き返した。後から登ってきた帯広の3人パーティーは山頂目指して私の横を登って行った。天気は快晴、私はルンルン気分で下山した。13時30分駐車場着。



下ってからビジターセンターでお聞きしたら「今年は5月下旬に続いた快晴猛暑のため、いろいろの花が早く咲いて散ってしまいました。」とのことだった。やはりサクラソウの仲間は5月初めに来ないとだめだな。事故に遭遇して探すのをあきらめたソラチコザクラも、もう散っているのではないか、とのことだった。危険をおかして無理をしなくてよかった。

今日の車中泊も昨日と同じ道の駅「みついし」に決めてある。朝来た道を引き返し3時に道の駅「みついし」着。昆布温泉「蔵三」でゆっくり入浴し、レストランで生ビールと夕食。昨夜と全く同じコースで今夜も終わった。

今日で目的をほぼ果たし、これで今回の「北海道花紀行」は終了となった。

今回観察できたサクラソウの仲間は、テシオコザクラ、レブンコザクラ、サクラソウモドキ、エゾオオサクラソウ、サマニユキワリ、ヒダカイワザクラの6種類。夏の大雪山を飾るエゾコザクラは何回も見ているから北海道で見たサクラソウの仲間は7種類になる。あと北海道で残るサクラソウは今回見られなかったソラチコザクラ、2回も登って出会えなかった夕張岳のユウバリコザクラ、さらにはカムイコザクラ、ユキワリコザクラ、コエゾサクラソウ、トチナイソウ、カッコソウなどがあるが、いつ出会えることだろうか？